

仙台市議会だより

sendai city assembly

第156号
平成24年

第1回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp>

2012年(平成24年)5月発行

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



仙台国際ハーフマラソン大会

新緑の杜の都を駆け抜けるハーフマラソン。昨年は震災の影響で開催が見送られましたが、ことしは高い競技性を維持しながら、参加者1万人という大規模なハーフマラソンとして5月13日に開催されます。マラソンを通して、全国からの多くの支援に感謝を表すとともに、復興している元気な仙台を国内外に発信します。(写真は平成22年5月開催大会)

平成24年度当初予算を含む101件の議案を可決

3/16	3/13	3/8	3/2	3/1～15	2/29・3/9	2/24・27・28	2/22・23	2/16
本会議	本会議	本会議	本会議	特別審査委員会	常任委員会	本会議	本会議	本会議
・ 議案の採決 ・ 討論 ・ 意見書の採決	・ 人事案件 ・ 予算等審査特別委員会委員長報告 ・ 常任委員会委員長報告	・ 追加議案の採決	・ 先議議案の採決	・ 予算等議案の審査	・ 予算等議案以外の議案審査	・ 追加議案説明、質疑 ・ 一般質問 22人	・ 代表質疑 6人	・ 人事案件 ・ 議案の提案理由説明

定例会会期日程

第1回定例会には、平成24年度予算案、副市長人事案、条例案など市長提出議案98件、議員提出議案3件、合計101件の議案が提出されました。

代表質疑と一般質問では、集団移転促進事業や復興公営住宅、経済ステッパアッププランなどの震災復興事業の内容や、復興に取り組む市長のリーダーシップと職員の意識改革、また地域防災計画の見直しや観光施策を含む交流人口の拡大など、震災後の仙台のまちづくりに関する諸課題について質疑がなされました。

また、平成23年度補正予算案と、過去最大の総額1兆1063億円余の平成24年度一般・特別・企業会計予算案等を審査するため、予算等審査特別委員会を設置し、11日間にわたり活発

市民のみなさまへ

最終日には復興交付金制度の弾力的かつ積極的な運用を国に求める意見書を全会一致で可決するなど全議案を可決しました。

また、今定例会において議員報酬の削減を議決しました。昨年9月の費用弁償の廃止と合わせ、復興財源の確保に寄与するため議会としても身を削る姿勢を示しました。さらに、被災家屋の解体・撤去の申請期限を年度を越えて延長させるため、復興大臣に要請するなど、被災した市民に寄り添い、議会の役割を積極的に果たすよう取り組んでおります。今後とも市民の目線に立つて、仙台市の復興に全力を尽くしてまいります。

仙台市議会
議長 佐藤 正昭
副議長 木村 勝好

議員報酬等を削減

仙台市議会は、昨年9月の定例会において費用弁償を廃止しましたが、これに加え、東日本大震災からの復興財源の確保に寄与するため、平成24年度の議員報酬を、国会や県議会に先駆けて、自主的に削減することを3月16日に全会一致で決定しました。具体的には、議長が月額7万円で年額84万円、副議長が月額5万円で年額60万円、議員が月額3万円で年額36万円を、それぞれ削減することといたしました。

先に廃止した費用弁償分と合わせ、新年度は議長が月額約10万円で年額約120万円、副議長が月額約8万円で年額約96万円、議員が月額約6万円で年額約72万円をそれぞれ削減することになります。これらの削減分の合計は4100万円余りとなり、復興元年である平成24年度の議会費については、平成23年度と比較し総額で2億2000万円余りの減額となりました。

仙台市議会は、大震災からの速やかな復旧・復興に向け、復興に関する補正予算や「震災復興計画」などを集中的に審議し決定するとともに、被災者を支援する新たな制度の創設や、国の予算の重点配分を求めて強力な要請活動を行うなど、これまでも精力的に取り組んでまいりました。本年を名実ともに復興元年とし、一日も早く市民生活の安心・安全を取りもどして仙台の再生を実現するため、今後とも引き続き全力を尽くしてまいります。

目次

市民のみなさまへ 定例会会期日程 議員報酬等を削減	1面
議案の紹介	2面
代表質疑	2・3面
一般質問	4・5面
常任委員会審議の概要	5面
用語解説	5面
予算等審査特別委員会 会派別議案賛否一覧表 会派別所属議員 議員提案条例の紹介 復興交付金制度に対する意見 書を提出しました 議会議中継のご案内 編集後記	6・7面
次回定例会のお知らせ	8面